

事例 16

生活科:たのしいあきいっぱい「いっしょにあそぼう」

関連する 10 の姿 ②自立心 ③協同性 ⑤社会生活との関わり

参考 東京書籍「あたらしいせいかつ上 教師用指導書授業展開編」 いっしょにあそぼう

実施時期

1学年11月(21 時間)

思いや願いをもつ

試す・見通す・工夫する

☆活動や体験をする

☆感じる・考える

☆表現する・行為する

振り返る



どんぐりがたくさん落ちていたよ。園ではお店屋さんをして遊んだな。

「秋みつけ」で見つけた秋の自然物をつかって、園での経験からどんなことをしたいか話し合っている。



まつぼっくりでまといれをつくったよ。年長さんと遊びたいな。



1 回目の交流会で使ったガシガシハンドをおもちゃにしたら面白そう。

年長児との交流会に向け、ルールや遊び方を工夫するなど相手意識をもって準備を進めている。



年長さんのためにこんなルールもあったら良さそうだよ。

★児童の思いをもとに、活動のめあてや流れをつくり、プログラムなどで掲示し、前回の振り返りを生かした活動につなげていく。

○1年生のクラス同士で交流したり、保護者の方に接客したりする中で改善点に気付き、遊びや遊び方を工夫できるようにする。

⑤社会生活との関わり
幼児との関わり方に気付き、その気持ちを考えて関わり喜んでもらうことでさらに親しみをもち、意欲的に活動しようとしている。

「全部楽しかった」「またやりたい」って言ってくれたよ。うれしいな。



まだあそこに年長さんが見えるよ。ばいばーい！



おもちゃおもしろかったね！ここでシールをはってもらおうよ。名ふだをわたしてね。

年長児の表情を見ながら、話し方や説明の仕方を工夫している。



相手の立場に立って、してもらうとうれしいことを考え、行動している。

③協同性
友達と考えた遊びで幼児を楽しませようという共通の目的の実現に向けて、自分ができることや友達のためにしてあげたいことを考え、進んで協力している。

②自立心
主体的に活動に向かう中で、自分がしなければいけないことに気付き、考えたり工夫したりしながら取り組む充実感を感じ始めている。

○保育者と事前に活動のねらいや流れを打ち合わせ、幼児が安心して活動を楽しめるように、手遊びや評価への協力を依頼し分担する。

年長さんとの交流を通して自分の成長に気付いている。

めざす子供の姿

遊びや学びのプロセス(10 の姿)

○先生の関わり

★環境づくり

※架け橋期のカリキュラム参照

児童の姿

友達と季節の自然に親しみ、自然物を使って遊ぶことや園児との交流を楽しんでいる。

目標 教科

・幼児の気持ちを想像しながら友達と工夫してつくった、身近な自然物のおもちゃで、園児が楽しく遊ぶことができたことに満足感をもち、これからも目標をもって生活を楽しくしようとしていくことができるようにする。 ☆生活(18・19/21 時間)

評価規準

主に関わる 10 の姿

・友達と遊びを工夫して、園児に楽しんでもらう面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。生活【態度】 ②自立心 ③協同性 ⑤社会生活との関わり

展開・主な学習活動

児童や担任の発言

○指導上の留意点

* 接続に応じた指導の工夫

教科【資質・能力】
評価規準(評価方法)

思いや願いを持つ

1 園児を迎え、始めの会をする。

久しぶりだね。
今日はお店屋さんだよ。



* 園訪問した交流を振り返って思いを持ち、目標や遊びをつくり活動する。
* 事前にクラス同士で交流したり、保護者に向けてお店やさんをしたり、楽しませるための工夫に気付けるようにする。

○前回と同じグループで座り、始めの会の手遊びや流れの説明をすることで、園児が安心して楽しめるよう手助けする。
・児童が進行する始めの会でめあてを確認し、児童が意識して活動したり、認められたりできるようにする
・アイスブレイクは保育者が幼児の好きな手遊びを行う



④年長さんも1年生も、もっとなかよくおもちゃまつりを楽しもう。

活動や体験をする

2 自分のコーナーから園児を楽しませる。

こうやって遊ぶんだよ。コツは・・・。

うまいね！すごいなあ。

○○ちゃん次は何をしたい？

感じる・考える

3 終わりの会で振り返る。



* 活動の流れや名前を視覚化したり、活動時間を音楽で知らせたりする。

○目標を達成するために一緒にお店やさんをしたり、お店を回ったりする。
・お友だちが来たらこれを渡してね。
・遊び終わった友達にシールをあげてね
・もっと仲良くなるために今日はたくさん名前を呼ぶよ。



* 幼児の立場に立って手助けするなど、意欲的な児童を認め声をかける。

○活動をペアで振り返った後、全体での発表や担任相互の評価も行い、楽しかった思いを共有する。
・一緒に遊べて楽しかった
・年長さんがいっぱい来てくれてうれしかった
・もっとなかよくなれてよかった
・もっとたくさんやりたい



表現する・行為する

4 園児の見送りをする。



* 担任が児童・幼児を相互に評価し、活動の満足感がもてるようにする。

○その場でアイデアを出し合ってお見送りする。
・一日入学があるから、「また来てね」って言う
・みんなでアーチを作って下をくぐってもらおう
○児童の思いに任せることで、さらに次の交流への見通しがもてるようにする。

生活【態度】
季節の遊びのよさや友達と遊びをつくる楽しさなど、気付いたことをカードに絵や言葉で表現している。
(作品、行動観察)

* 児童の活動への思いを、最後まで発揮できるようにする。